

# **“女性の活躍”に関する情報開示と投資家動向**

**大和総研 経済環境調査部  
研究員 物江陽子**

# “女性の活躍推進”が政府の重点施策に

## ◆ 「2020年30%」目標

指導的地位に女性が占める割合を少なくとも30%程度に

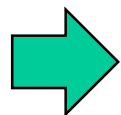
2003年、男女共同参画推進本部決定

2014年「『日本再興戦略』改訂2014」で成長戦略のKPIに

## ◆ 「政府から経済界への要請」

2013年、政府から経済界へ、女性登用促進の要請

◇ 背景： ①少子高齢化 ②社会の活性化



資本市場においても注目度が高まる

# ダイバーシティに関する投資家動向(世界)

## ◆ ICGNグローバル・コーポレート・ガバナンス原則

ガバナンス改革に取り組む機関投資家による行動規範

2009年から取締役会のダイバーシティに関する文言が入る

## ◆ 30%クラブ-取締役会の女性比率を30%に

企業や機関投資家の会長・CEOによる活動

機関投資家グループは投資先企業に働きかけ

## ◆ 取締役会のダイバーシティに関する開示強化の要望

2015年、米機関投資家がSECに開示規則強化を要望

# ダイバーシティに関する開示制度(世界)

制度	ダイバーシティに関する開示を定めた国(時期)
コーポレート ガバナンス・コード (原則)	ドイツ(2009年～) オランダ(2009年～) 英国(2010年～) フランス(2010年～) オーストラリア(2010年～) 日本(2015年～)
会社法	英国(2013年～)
証券委員会等の 開示規則	米国(2010年～) カナダ(2014年～)

◆ 非財務およびダイバーシティ情報の開示に関するEU指令(2014年～)

(出所) 各国資料より大和総研作成

# 女性の登用に関する開示状況(時価総額上位500社)

本 社 所 在 国	社 数	開示比率(%)					
		従業員女性比率		管理職女性比率		取締役女性比率	
		07年度	14年度	07年度	14年度	07年度	14年度
米国	201	15.4	37.3	13.4	24.4	83.1	99.5
日本	40	0.0	10.0	2.5	12.5	92.5	92.5
中国	37	5.4	54.1	0.0	21.6	54.1	89.2
英国	30	46.7	90.0	56.7	93.3	96.7	100.0
500社 平均	500	28.8	52.6	21.6	39.8	80.8	96.6

(注) データ取得は2016年4月時点 (出所) Bloombergより大和総研作成

# 女性の登用に関する開示情報(時価総額上位500社)

本社 所在国	社数	女性比率(%)					
		従業員		管理職		取締役	
		07年度	14年度	07年度	14年度	07年度	14年度
米国	201	36.5	35.6	26.5	27.8	16.0	20.2
日本	40	-	34.4	6.7	18.3	0.9	3.9
中国	37	22.8	42.8	-	26.5	5.2	8.5
英国	30	42.1	40.4	24.4	27.2	12.4	24.1
500社 平均	500	37.9	38.3	23.1	26.1	12.0	18.1

(注) データ取得は2016年4月時点 (出所) Bloombergより大和総研作成

# 女性の登用に関する開示制度(日本)

制度	時期・内容
有価証券報告書	2014年、企業内容等の開示に関する内閣府令改正 → 役員の数別人数・役員女性比率記載を義務化
コーポレート・ガバナンス報告書	2013年・15年、東京証券取引所が記載要領を改訂 → 女性の登用を記載例として示す 2015年、東京証券取引所がコーポレートガバナンス・コードを導入 → 「多様性の確保」が記載される
女性活躍推進法	2015年施行 女性登用に関する状況把握・行動計画策定・情報公表の義務化

(出所) 各種資料より大和総研作成

# コーポレート・ガバナンス報告書における開示状況(日本)

カテゴリ	報告書数	女性登用に関する記述があった企業	
		社数	比率 (%)
東証上場企業	3,488	834	23.9
東証一部上場企業	1,932	627	32.5
JPX日経400採用企業	400	218	54.5
日経平均株価採用企業	225	145	64.4
TOPIX100採用企業	100	79	79.0

(注) 2016年1月13日時点での情報に基づく  
(出所) 東京証券取引所コーポレート・ガバナンス情報サービスより大和総研作成



## 終わりに

- ◆ **企業の“女性の活躍”に関する情報—投資家への示唆**
  - **各国で情報開示の制度化が進み、開示比率も上昇**
  - **上場企業の各層における女性比率も世界的に上昇傾向**
  - **投資家には企業評価の材料のひとつになる可能性**
  - **形だけ女性登用の実績を作っている企業 VS.**  
**企業価値創出のため多様な人材登用を進めている企業**